

令和8年度

教育に関する事務の管理及び執行状況
の点検・評価に関する報告書
(令和7年度事業)

令和8年8月

小 野 町 教 育 委 員 会

目 次

■はじめに・・・・・・・・・・・・・・・・	1
■点検及び評価制度の概要	
1 目 的・・・・・・・・・・・・・・・・	2
2 点検・評価する事務の対象・・・・・・・・	2
3 点検・評価の実施方法・・・・・・・・	2
4 学識経験者の知見の活用・・・・・・・・	2～3
5 点検・評価の具体的な方法・・・・・・・・	3
6 町民への公表・・・・・・・・・・・・・・・・	3
7 評価委員会の点検・評価の概要・・・・・・・・	4～5
8 令和8年度教育委員会事業点検・評価（令和7年度事業） 結果一覧表・・・・・・・・・・・・・・・・	6～7
■事業点検・評価シート（令和7年度事業） （教育課所管分）	
1 勤労青少年ホーム管理運営事業・・・・・・・・	8
2 多目的研修集会施設管理事業・・・・・・・・	9
3 教育委員会運営事業・・・・・・・・・・・・・・・・	10
4 事務局事業・・・・・・・・・・・・・・・・	11
5 森林環境学習事業・・・・・・・・・・・・・・・・	12
6 スクールバス運行事業・・・・・・・・・・・・・・・・	13
7 小学校管理事業・・・・・・・・・・・・・・・・	14
8 小学校教育振興事業・・・・・・・・・・・・・・・・	15
9 中学校管理事業・・・・・・・・・・・・・・・・	16
10 中学校教育振興事業・・・・・・・・・・・・・・・・	17
11 社会教育総務事業・・・・・・・・・・・・・・・・	18
12 生涯学習推進事業・・・・・・・・・・・・・・・・	19
13 小野高校連携推進事業・・・・・・・・・・・・・・・・	20
14 国際交流事業・・・・・・・・・・・・・・・・	21
15 公民館管理運営事業・・・・・・・・・・・・・・・・	22
16 放課後子どもプラン事業・・・・・・・・・・・・・・・・	23
17 一般管理運営事業（郷土史料館）・・・・・・・・	24
18 丘灯至夫記念館管理運営事業・・・・・・・・	25
19 図書館管理運営事業・・・・・・・・・・・・・・・・	26
20 美術館管理運営事業・・・・・・・・・・・・・・・・	27
21 文化財管理運営事業・・・・・・・・・・・・・・・・	28
22 社会体育総務事業・・・・・・・・・・・・・・・・	29
23 スポーツ振興事業・・・・・・・・・・・・・・・・	30
24 学校体育施設開放事業・・・・・・・・・・・・・・・・	31
25 体育施設事業・・・・・・・・・・・・・・・・	32
26 給食センター管理運営事業・・・・・・・・	33
27 学校給食検査体制整備事業・・・・・・・・	34
28 文化・体育振興事業・・・・・・・・・・・・・・・・	35

は じ め に

地方教育行政の組織及び運営に関する法律により、教育委員会は毎年その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、議会に提出するとともに、公表することとなっています。

小野町教育委員会における令和7年度の教育行政は、「人が輝き みんなでつくる しあわせおのまち」を将来像とする「小野町総合計画」のもと実施されました。中でもまちづくりの基本姿勢の第一、「『人』を大切にし、『人』を育てる。」を念頭に基本目標の「(1)人を育む子育て・教育・文化のまち」の実現に向けて教育委員会の「教育大綱」及び「教育委員会重点施策」を策定しさまざまな施策を実施してまいりました。

生きて使える確かな学力を培うこと、人とのつながりを大切にしたい心豊かな人間性を培うこと、そして、たくましく生きるための健康や体力を培うことを各領域共通の基本におき、教育委員会が点検・評価（自己評価）を行うとともに、評価の客観性を確保するため、「小野町教育行政評価委員会」を設置し、学識経験者から評価及び意見をいただき、その結果を本報告書としてまとめたものであります。

小野町教育委員会は、小野町教育行政評価委員会の点検・評価の結果を踏まえて、今後とも学校教育や生涯学習・スポーツ活動の充実、青少年健全育成の推進及び町民文化の向上などに努めて参りたいと考えております。

町民の皆様には、本町の教育行政の充実発展のために、更なるご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

令和8年8月

小 野 町 教 育 委 員 会

点検及び評価制度の概要

1 目 的

教育委員会の基本方針に沿って計画的に教育行政が執行されているかどうかについて、教育委員会自らが点検・評価を行うとともに、学識経験者の提言・意見を踏まえて、効果的な教育行政をより一層推進するとともに、その結果を町民に公表することにより、開かれた教育委員会を目指すことを目的とする。

2 点検・評価する事務の対象

本町教育行政の行動計画である、「人が輝き みんなでつくる しあわせおのまち」を将来像とする「小野町総合計画」及び「小野町教育委員会重点施策」等に掲げられた事務事業のうち、教育委員会が所管する事業を点検・評価の対象としている。

なお、点検及び評価の対象年度については、前年度の事務事業を対象とする。

教育課所管・・・・・・・・・28事業

3 点検・評価の実施方法

点検・評価は重点施策の実施状況について明らかにするとともに、事業の課題等を分析し、今後の対応方針について自己評価を行うとともに、客観性を確保するため、教育に関し学識経験を有する方々により点検・評価が行われた。

4 学識経験者の知見の活用

小野町教育行政評価委員会設置要綱に基づき、教育委員会が行った点検・評価（自己評価）について、教育に関し学識を有する方々の知見を活用することにより客観性を確保するため、次の3名の委員から様々な意見・評価をいただいた。

○小野町教育行政評価委員会委員名簿

(敬称略)

職 名	氏 名	備考
委 員 長	根内 喜代重	元公立小学校校長
委員長職務代理者	白石 美香	小野中学校PTA会長
委 員	横田 貞子	前小野町社会教育委員会委員長

○小野町教育行政評価委員会は、2回開催した。

区 分	開 催 日	内 容
第1回	令和8年7月7日（火）	①教育委員会における自己評価について ②教育行政評価委員会の意見及び評価について（点検評価の手法）
第2回	令和8年8月3日（月）	①各委員の評価結果について ②教育行政評価委員会の評価・意見の集約について

5 点検・評価の具体的な方法

（1）点検及び評価の主体

点検及び評価は、当該事務事業を企画立案し、遂行する立場から教育委員会が行うものとする。

（2）点検及び評価の視点

点検及び評価は、事務事業の必要性、効率性、有効性その他の事項を視点として行うものとする。

（3）教育委員会による自己評価

①作業シート（事業評価調書）の作成

教育委員会が所管する事務事業について、現状の把握と目指す指標の設定（数値化できる場合は可能な限り数値化する）を行い、上記（2）の視点をもとに4段階の評価を行う。

②事業点検・評価シートの作成

事務事業（28事業）毎に作成し、それぞれ4段階の評価【上記①の作業シートに基づき（A：十分成果が上がって良好に行われている B：成果が上がって概ね良好に行われている C：成果が十分に上がっておらず改善が必要 D：成果がほとんど上がっておらず基本的見直しが必要）】を行い、事業の成果と課題等を明らかにする。

（4）教育行政評価委員会の意見・評価

点検・評価にあたっては、客観性を確保するため、小野町教育行政評価委員会を設置し、教育委員会が所管する事務事業の自己評価に対する評価や今後の事務事業の方向性等に関して、意見を伺うものとする。

6 町民への公表

教育に関する事務の管理及び執行状況の点検・評価に関する報告書は、町の公式ウェブサイトに掲載する。

7 評価委員会の点検・評価の概要

(1) 施策（事業）の評価の概況

各事務事業の評価は目標に対する達成度を基本としつつ、事業の進捗状況などを踏まえて、有効性や改善点など総合的に判断して「A」、「B」、「C」、「D」の4段階で評価をしている。

【評価区分と今後の方向性】

- A：十分成果が上がって良好に行われている
- B：成果が上がって概ね良好に行われている
- C：成果が十分に上がっておらず改善が必要
- D：成果がほとんど上がっておらず基本的見直しが必要

※目標値を設定していない場合は、指標の推移、事業の進捗状況等を総合的に判断して評価する。

上記評価区分を踏まえて、「さらに重点化」、「現状のまま継続」、「見直しの上継続」、「事業の縮小」、「休止・廃止」など今後の方向性を定める。

(2) 点検・評価の結果

点検・評価の結果については、各委員の「評価」と「意見」を取りまとめ、点検・評価シートに記載している。なお、個別の点検・評価シートについては、8ページ以降に掲載している。

(3) 教育委員会自己点検・評価の概要

教育委員会における事務事業28事業の評価については、「A」が13事業、「B」が14事業、「C」が1事業となっており、今後の方向性としては、「さらに重点化」が6事業、「現状のまま継続」が18事業、「見直しの上継続」が2事業、「休止・廃止」2事業となっている。

(4) 教育行政評価委員会からの点検・評価結果

教育委員会が実施した28事業の自己評価を踏まえて、小野町教育行政評価委員会としての総合評価、今後の方向性及び個別事業毎の意見をいただいた。

その結果、総合評価は「A」が13事業、「B」は15事業となっている。

なお、小野町教育行政評価委員会における総括評価については、次のとおりである。

令和8年度 小野町教育行政評価

小野町教育行政評価委員会

【総括評価】

令和7年度の小野町教育委員会の教育行政は、「子どもから大人までのすべての町民が、生涯を通じて目標に向かって楽しく学び、文化的・健康的な生活を送れる環境を創り、心豊かでたくましい人づくりや調和のとれた人間力向上を目指すこと」を基本理念として、教育の充実と振興のため、きめ細やかな取り組みが実施されていた。

学校教育分野においては、前年度に引き続き、小学生を対象としたスプリング・ショートプログラムや中学生を対象としたサマー・ショートプログラムを実施し、令和6年度から取り組みを始めた小学校4年生から中学校3年生までを対象とした「夏休み Self-Study Support」(5日間)も継続して実施した。児童生徒の学習機会のさらなる拡充を図り、確かな学力の向上に向けて行政としてもさらに一歩踏み込んだ積極的な取り組みを行っている。また、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーを積極的に活用し、悩みを抱える児童生徒の心身の安定に貢献していた。特に、スクールソーシャルワーカーは児童生徒の家庭状況まで踏まえて支援に当たっている。

令和7年度は新たに小野町柔道会による部活動の地域展開が開始され、子どもたちが多様な活動を体験できる機会の創出と継続して取り組めるよう体制づくりの端緒についたところである。

今後は、学校教育のさらなる充実に向けて、教育環境の整備や各種学力対策事業が適切に推進されるとともに、配置されているICT支援員を有効活用することによって、教育効果を最大限に高めていっていただきたい。児童生徒の「生きる力」である確かな学力・豊かな心・健やかな体が着実に育まれるよう、適正な学びの保障に努めていただきたい。

生涯学習分野においては、多目的研修集会施設や勤労青少年ホームなど各施設の維持管理と利便性の向上が図られていた。放課後子どもプラン事業は、サポーターの協力のもと円滑に運営されており、今後は、地域との連携強化による居場所づくりを一層充実させ、児童がさまざまな体験を通して学びの機会を得られるよう期待します。図書館管理運営では、文化の館と小・中学校の連携した図書システム活用によって学校のニーズに応じた配本業務が行われており、読書活動の推進にもつながっていると考える。文化財の管理運営では、天然記念物の養生などが確実に行われていた。地域住民が芸術・文化・スポーツに親しめるよう、自発的な生涯学習と社会活動の充実に取り組まれた。今後も引き続き、地域の情勢を見極めながら、生涯学習・生涯スポーツの充実と振興のため、住民ニーズを的確に捉えた魅力ある事業を展開するとともに、安全で利用しやすい施設整備及び施設の効果的な利活用に努めていただきたい。

子どもたちを取り巻く環境が急激に変化していく中で、家庭と地域のつながりや人々の価値観も大きく変化しており、社会全体における教育意識や倫理観の低下など諸課題が顕著となっている。そのような中、地域の財産である人材の育成は、本町教育に課せられた重要な責務である。今後も、未来を切り開く子どもの育成と、生涯にわたる学びの支援及びスポーツの推進を重点として、地域及び関係機関と連携・協力しながら、教育行政の更なる充実を図っていただきたい。

令和8年度教育委員会事業点検・評価(令和7年度事業) 結果一覧表

No.	中事業名称	小事業	教育委員会 自己評価	今後の方向性	教育行政 評価委員会 総合評価	今後の方向性
1	勤労青少年ホーム管理運営事業	勤労青少年ホーム管理事業	A	現状のまま継続	A	安定的な利活用 が図られるよう対 策を講じながら継 続
2	多目的研修集会施設管理事業	多目的研修集会施設管理事業	A	現状のまま継続	A	適切な管理運営 を図りながら継続
3	教育委員会運営事業	教育委員会運営事業	B	現状のまま継続	B	地域と共にある学 校づくりに取り組 みを進めながら 継続
4	事務局事業	教育委員会事務局一般事業 学力向上対策事業 外国語理解推進事業 特別支援教育推進事業 地域部活動推進事業(新)	B	さらに重点化	B	ALT派遣や特別 支援員の配置及 び部活動の地域 展開などをさら に重点化
5	森林環境学習事業	森林環境学習事業	B	現状のまま継続	B	教育課程編成を 工夫しながら継続
6	スクールバス運行事業	スクールバス運行事業	A	見直しの上継続	A	児童生徒の所在 や人数等の変動 に応じた見直し を行いながら継続
7	小学校管理事業	小学校管理運営(各小学校)事業	A	現状のまま継続	A	適切な維持管理 を図りながら継続
8	小学校教育振興事業	小学校振興事業 ICT教育推進事業 学力向上対策事業 就学支援事業	A	さらに重点化	A	児童生徒個々の ニーズに対応した 取り組みをさら に重点化
9	中学校管理事業	中学校管理運営事業	A	現状のまま継続	A	計画的な修繕を 行いながら継続
10	中学校教育振興事業	中学校振興事業 ICT教育推進事業 学力向上対策事業 就学支援事業	A	さらに重点化	A	SC、SSWの適 正配置及びSSP 等の継続的な取 組をさらに重点化
11	社会教育総務事業	社会教育総務事業	B	現状のまま継続	B	現状のまま継続
12	生涯学習振興事業	生涯学習推進事業	B	さらに重点化	B	多様化する住民 ニーズを捉えた各 種講座をさらに重 点化
13	小野高校連携推進事業	小野高校連携推進事業	C	休止・廃止	B	休止・廃止

令和8年度教育委員会事業点検・評価(令和7年度事業) 結果一覧表

No.	中事業名称	小事業	教育委員会 自己評価	今後の方向性	教育行政 評価委員会 総合評価	今後の方向性
14	国際交流事業	小学生国際交流体験事業	A	さらに重点化	A	地域住民と在住 外国人の交流を さらに重点化
		中学生国際交流体験事業				
		海外研修助成事業				
		多文化共生のまちづくり推進事業				
15	公民館管理運営事業	公民館管理運営事業	B	現状のまま継続	B	生涯学習の拠点 として現状のまま 継続
16	放課後子どもプラン事業	放課後子どもプラン事業	A	さらに重点化	A	地域との連携をさ らに重点化
17	一般管理運営事業(郷土史料館)	ふるさと文化の館管理運営事業	B	現状のまま継続	B	適正な維持管理 を行いながら継続
		郷土資料館管理運営事業				
		こどもの笑顔ひろば事業				
18	丘灯至夫記念館管理運営事業	丘灯至夫記念館管理運営事業	B	現状のまま継続	B	現状のまま継続
19	図書館管理運営事業	図書館管理運営事業	B	現状のまま継続	B	現状のまま継続
		図書館資料整備事業				
20	美術館管理運営事業	美術館管理運営事業	B	現状のまま継続	B	現状のまま継続
		企画展運営事業				
21	文化財管理運営事業	文化財保護審議会運営事業	B	現状のまま継続	B	伝統文化の維 持、継承の継続
		文化財保護事業				
22	社会体育総務事業	スポーツ推進委員会事業	B	現状のまま継続	B	現状のまま継続
		社会体育総務一般事業				
23	スポーツ振興事業	スポーツ振興事業	B	現状のまま継続	B	現状のまま継続
		ふくしま駅伝事業				
24	学校体育施設開放事業	学校体育施設開放事業	B	現状のまま継続	B	現状のまま継続
25	体育施設事業	体育施設管理運営事業	A	現状のまま継続	A	計画的な修繕を 行いながら継続
26	給食センター管理運営事業	給食センター管理運営事業	A	現状のまま継続	A	安定した学校給 食提供を継続
27	学校給食検査体制整備事業	学校給食検査体制整備事業	A	休止・廃止	A	県の動向や保護 者のニーズを踏 まえ休止・廃止
28	文化・体育振興事業	芸術文化振興事業	A	見直しの上継続	A	増資や補助金の 効果的活用など を検討しながら継 続
		体育振興事業				

